

リバイブ

いしのまき

特集：工事調整会議



Vol.01 創刊号
2016年9月15日発行

発行：石巻市市街地復興工事調整会議
調整事務局（国交省北上川下流河川事務所・宮城県東部土木事務所・石巻市）
連絡先：石巻市復興事業部基盤整備課
☎0225-95-1111
(内線) 5517・5518

リバイブ いしのまき創刊

石巻に住んでいても、復興工事がどのように進んでいるかわからない。そんな皆さんの声にお応えして、石巻市市街地復興工事調整会議（略称「工事調整会議」）が市民の皆さんに復興工事の情報を届けようという思いで、「リバイブ」を創刊しました。

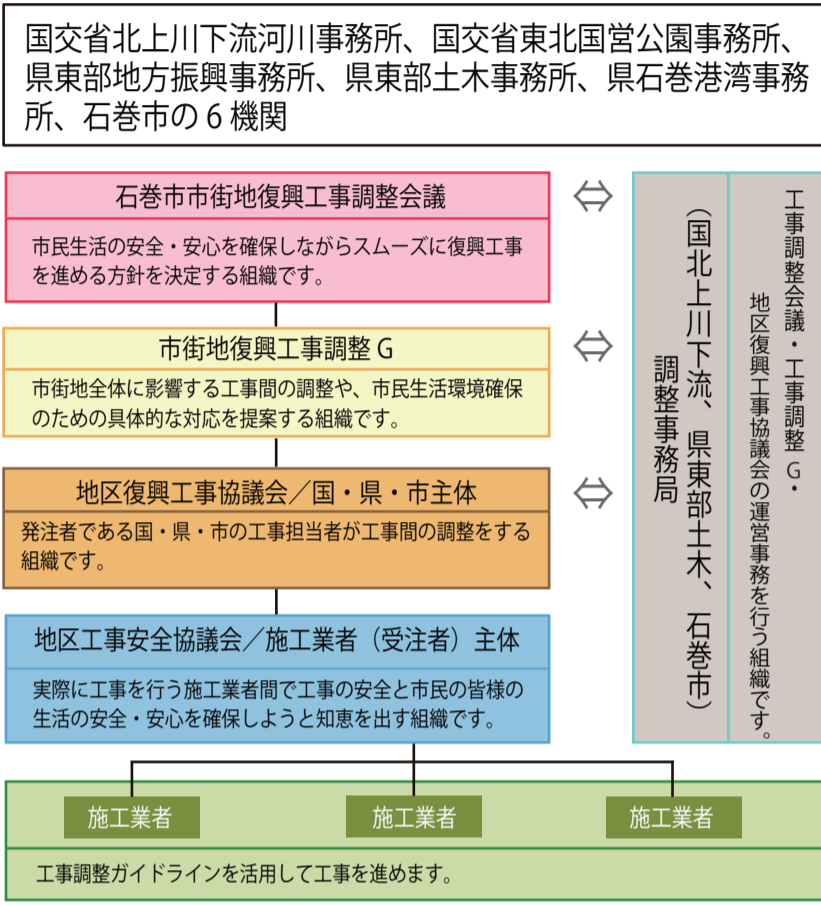
「リバイブって、どんな意味でしょうか。リバイブは英語で「復活する」「復興する」という意味です。その他に「生命などを回復する」「元気や体力を取り戻す」「注目を集める」の意味があることから、力強く復興を遂げることで、石巻にお住まいの皆さんが元気になる、注目を集める石巻になるよう願いを込めて名づけました。

工事調整会議 って何ですか？

本格的な復旧・復興工事に入っている石巻市街地では、それに伴い市民の皆さんの生活に影響が出ると予想されます。また、市街地全体の工事を把握しながら工事間の調整を行わないと、工事が遅延するのではないかと懸念しています。

このような現状を踏まえて、復興工事に関する情報を市民の皆さんと共有し、生活の安全・安心を確保しながら、復興工事を円滑に推進して行くことを目的として、国・県・石巻市が一体となった工事調整会議を設立しました。あわせて、発注機関・施工業者が工事を進める考え方として、「石巻市街地における工事調整ガイドライン（案）」を作成しました。

《石巻市市街地復興工事調整会議の構成機関》



工事は どうなってるの？

石巻市街地の工事件数は、平成28年度には年間200件を超える予想されます。それをピークが続き、徐々に減少していくと予想されます。石巻市街地で実施されている事業と完成目標は下図をご覧ください。市街地のなかでも、特に旧北上川沿いに集中していることが分かります。



↑旧北上川沿いの市街地再開発ビルと河川堤防工事の様子（平成28年8月撮影）



↑日和山から見た旧北上川沿いの工事状況（平成28年8月撮影）

